

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	615-5 観光振興事業(広域観光協議会等への参画)	会計	01	一般会計
		款	07	商工費
		項	01	商工費
		目	03	観光費
基本 施策	44 資源ともてなしの心を活かし、観光を振興する	細目	336	観光振興経費
		細々目	01	観光振興経費
行革大綱の重点事項番号		コード	191400	担当者
担当部署	名称	名称	産業建設部商工労働観光課	氏名
		連絡先	43 - 2309	(内線)

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	市内、市外及び県外の観光客	※対象件数
成果(どうする)	観光PR、情報提供などを共通のテーマや広範囲な視点で実施することができる、また独自ではPRが難しい有名メディアや遠方の地区へのPRを共同で効率的に行うことにより誘客が図れる。	
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
H22 事業 内容	三重県観光連盟ほか、広域観光協議会に参画し、効率的な観光PR、情報提供を行った。 【主たるもの】 東京メディア交流会(三重県観光連盟) 近鉄とタイアップした観光キャンペーンの実施(東大和西三重観光連盟) 観光みえホームページへの掲載(三重県観光連盟) 雑誌への広告掲出およびテーマ性のある観光キャンペーンの実施(名張・伊賀・津観光振興協議会)	
	社会情勢 の変化等	
	NINJAフェスタ等を都市圏などで効率的にPRすることができ、例年より遠方の誘客につながっている。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	
3 年間運営費	
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動 指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
広域連携によるイベント等開催回数	回	回	目標	12	目標	12
			実績	15	実績	12
			目標		目標	
			実績		実績	

成果 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
年間(暦年)の観光入込客数	人	過去3年間の観光入込客数実績平均を目標値に設定し、当該年度を評価	目標	3393512	目標	3292545	
			実績	3292545	実績	3095037	
			目標		目標		
			実績		実績		

投入 コスト	直接事業費計(A)	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
Aの 財源 内訳	国庫支出金	8,545	6,083	3,533	7,942
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	8,545	6,083	3,533	7,942
事業投入人件費(B)		1.0人	7,200	1.0人	7,200
フルコスト(A)+(B)		15,745	13,283	10,733	15,142

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)	
必 要 性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業		
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業		
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業		
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業		
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
有 効 性	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	観光振興を積極的に取組むことにより乗客交流が促進され、それに伴い経済活動や地域の活性化が見込まれるため、伊賀市が観光都市として進むことへの市民ニーズは高い。	○	
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合は、市民生活への影響が大きい事業		
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
	地場産業や地域経済が疲弊している状況においては、観光産業は成長性の高い産業であり、また波及効果が広い産業であるため従来にもまして重要な役割を担い、経済活性化への切り札になりうるものと考えられ、市民生活にプラスの影響を与えることができる。	○	
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○	
	サービス水準や対象を見直す余地がある。		
	当初設定した計画を	100%	実施している。
達 成 度	予算の繰越の有無	無	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	【予算の繰越がある場合、繰越の種類】		
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。		
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。		
	【事業名】		
	受益者負担を求めることができる事業である。		
	全体コストにおける負担構成は適正である。		○
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	今年度、平城遷都1300年祭に加盟団体で出展することにより、メディアの注目を集め、パブリティ(無償での公共宣伝)による観光PRを行う。
【状況】	計画のとおり進んでいる
【詳細】	
昨年度の 取組状況	各団体が主催する事業に積極的に参加し、伊賀市の観光PRを効果的に行うことができた。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	松本 浩典
【方向性】	現状維持
【理由】	
事業の方向性	広域的な観光協議会等に参画することにより1市単独では十分に取組むことのできない広域での情報発信や効率的な観光・地域資源のPR展開を推進するとともに、参画市町との相互交流を図り、さらに充実した観光振興につなげる。
現時点における 課題、その他	○さらなる広域的な観光PR活動の充実 ○「忍者」で繋がりのある甲賀市などとの連携強化 ○観光圏への取組み
課題、その他に 対する改善策	今年度、甲賀市と「忍者」をテーマに連携事業を検討し、誘客につなげる。
(いつまでに、何を、どうする)	